

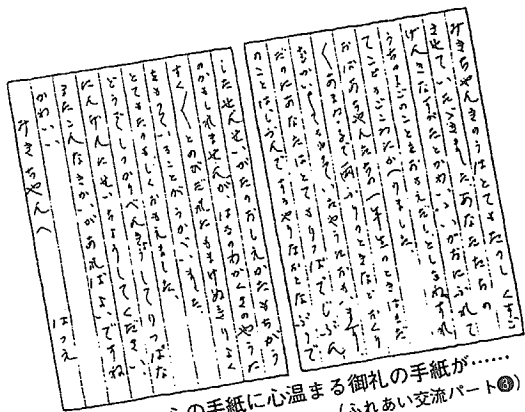
ふれあいネットワーク

お年寄りと子供(孫)たちの世代を超

あいにくの雨模様のなかの海岸清掃でしたが子供会との交流でお年寄りたちは晴れやか?



(ふれあい交流パート②)



▲児童からの手紙に心温まる御札の手紙が……
(ふれあい交流パート④)

▼海岸清掃を終えて全員で記念写真一心のふれあいの文字が強烈でした。



(ふれあい交流パート⑤)

雨模様のうえ短時間の交流だったためか、まだまだお互いにごこちなさ?が残ったようですが、これを機会にこれからいろいろな活動を通してふれあいの輪を広げていく予定です。

今後の交流・活動が楽しみです。

さすがは年季の入ったお年寄りたち、服装は完全防雨スタイルで子供たちの軽装とは対照的。作業は二人でペアを組んだり、グループになったりして、「どこの子らね」「○○です」と会話をしながら進めていました。

この日は深夜から朝方にかけて、台風の影響で雨模様。せっかくの交流がそれこそ流れてしまうのではないかと、と思わせましたが、みんなの気持ちを通じたのか、作業を始めるころには小雨に転じ、地区別に二班に分かれて空き缶やビニール容器を中心にクリーン作戦を展開しました。

ようーときずなづくりを始めました。今号では、心のふれあいネットワークと題し、三つのふれあい交流をご紹介します。

ふれあい交流パート①

ふれあい交流パート①は、ふれあいプラス地域奉仕——と間瀬地区老人クラブが、地域子供会と連携して、先月十八日、ふれあい交流第一弾として、朝六時から一時間、海水浴シーズンを迎えた間瀬海岸の清掃で、お互いの交流をスタートさせました。

ーク

えた交流



▲間瀬地区公民館の寿大学生と間瀬小学校児童とのふれあい交流——一番喜ばれたのは子供たちとの会食でした。

(ふれあい交流パート⑥)



世代を超えたふれあいの輪が広がる(和納ふれあい農園で)

お年寄りと子供たちの厚い交流

いま、お年寄りのなかに、「子供たちといっしょに何かしたい」「自分たちの経験と知恵を若い世代に伝えたい」「張りのある活動がしたい」と志向する人が増えているといいます。

かと言って、孫やひ孫のいる家はかりではありませんね。

天気のいい昼下がり、近所のお年寄りや世間話をするのもいいし、ゲートボールに熱を入れるのもいい。しかし、何かもの足りない……。一人でいるのは気ままでもいいが、やはりさみしさは隠せません。子供たちは、正直いって育てるだけで気力も体力も消耗した。「老いては子に従え」ということわざもあるように、自由気ままにやらせてもらっているが、張り、というか、緊張感、みたいなものがなくなってしまう、とボツリ話してくれたお年寄りがいます。何か「豊かさ」を見出した、と考えているお年寄りがたくさんいるといいます。

そんなお年寄りのささやかな願いに、お年寄りのなかに、「子供たちといっしょに何かしたい」「自分たちの経験と知恵を若い世代に伝えたい」「張りのある活動がしたい」と志向する人が増えているといいます。

お年寄りのなかに、「子供たちといっしょに何かしたい」「自分たちの経験と知恵を若い世代に伝えたい」「張りのある活動がしたい」と志向する人が増えているといいます。